

# 明日を拓こう

⑧

## 商いの指針

九州の地元銀行や企業から出資を募ったファンドで、九州の中小企業を支援する「ドーガン・アドバイザーズ」(福岡市)。独立系の地域ファンドは全国初の取り組みと評され、発足7年で38社を支援している。「金融の地産地消」を目指すという森大介社長(43)＝熊本出身＝に聞いた。

(編集委員 荒木昌直)

「投資ファンドといってもいろいろあります。」

「九州ではまだなじみが薄い。一般の人にはファンドといえは、乗っ取りや投資先を切り売りするといったうさんくさいイメージがある。しかし僕らが行っているのは穏やかなファンド。株や社債などを取得して息長く支援する。投資先企業のためになることをやりたい。」

「例えば人吉市の縫製工場『HITOYOSHI』。優れた縫製技術を残すつと、経営破綻した親会社から工場長らが新会社を立ち上げて工場を買収したが、その新会社に出資し、事業継続を支援した。社長さんには『事業を成功させて株を引き取ってほしい。待って』とお願いしています。金融機

## ドーガン・アドバイザーズ(福岡市) 森大介社長(43)

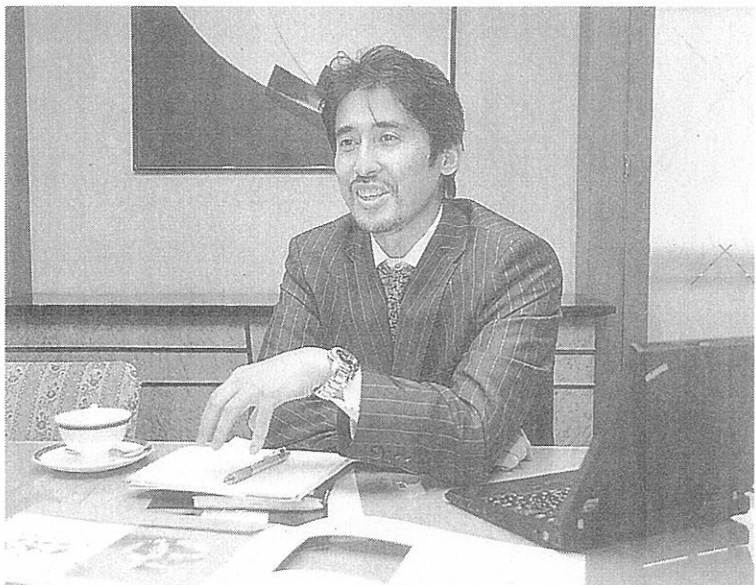
関の融資だと両者は債権者、債務者の関係になり約定通りに返してくださいとなるが、僕らは同じポートに乗った者同士。資金提供だけでなく財務、販路開拓など経営全般もお手伝いし、一緒に汗を流していく。」

「投資先のホテルニューオータニ熊本(熊本市、JR熊本駅前)の社長を兼任されている。3月には九州新幹線が全線開業、熊本は大阪・東京と直結する。」

「経済圏は加速度的に一つになっていくでしょうが、熊本にしかないものはまだまだある。阿蘇天草など恵まれた自然や温泉も各地にある。福岡に10年住んでいるが、福岡にはお客さんを昼間案内するような所はない。家族連れでいらっしやうって翌日観光しよつとなつても行く所がない。まずそういうビジネスマンを熊本は取り込んでいく。新幹線は九州全体で考えた方がメリットがある。」

「ただ熊本には鹿児島のような

「金融の地産地消を目指す」というドーガン・アドバイザーズの森大介社長(山影祐介)



◇もり・だいすけ 日本長期信用銀行、シティバンク、エヌ・エイを経て九州の役に立ちたいと独立、2004年に「ドーガン・アドバイザーズ」を設立した。外資系銀行勤務時、資産家、オーナー企業の資産運用を任されたが、資金を吸い上げて地元には還流しない手法には疑問も感じたという。中央大法学部卒。

かもしれないが、北海道を訪ねる観光客の半分は外国人のようだ。市民が片言の英語で道案内している。そんな光景は九州では見られない。」

「観光はビジネスの上になり立っている面もある。例えば独特の大型二輪車で知られるハーレーダビッドソンの本社は米ミルウォーキー、世界的な通販サイト・アマゾンの本社は米シアトルにある。ビジネスで訪れる人が多く、観光も楽しんで帰っていく。そうした人たちが家族ぐるみでピーターになってくれる。欧米には小さなまちに世界的な企業があり人を呼び込んでいる。九州からもそうした企業が生まれればと思っ

＝ 随時掲載

切迫感がないようにも感じる。鹿児島銀行さん主導で農業関連企業を支援するファンド(民間出資のみは全国初)を組みましたが、今のところ投資先は鹿児島県内に限られている。自分たちの所はイモしかできないので地元産業を育て、外需を取り込もうと懸命。その姿勢には心打たれる。鹿児島に比べると熊本はなんでもあり恵まれ過ぎているのかなと…」

「九州はアジアに近く、成長著しい中国などとの交流が期待されている。」

「アジアを無視しては絵は描けない。アジアの政府関係者を拓き、投資先企業との商談を考えているが、九州はアジアに近い割には交流は遅れている。観光案内などインフラ一つをとっても、現状では道が分からず外国人が1人では阿蘇に行けないのでは。単なる印象

九州の中小企業支援などに特化した投資銀行。経営戦略、リサーチなどのアドバイザー業務とともにドーガン・インベストメントが開拓、事業承継、事業再生、関連の4ファンドを運営する。ファンド総額は96億円。スタッフは18人。本名は「森大介」さんですか？」

# 九州の資金で九州企業を支援